

学校法人高木学園への御寄付について（趣意書）

学校法人高木学園は、現在、福岡国際医療福祉大学（福岡市）、専門学校柳川リハビリテーション学院（福岡県柳川市）そして大川看護福祉専門学校（福岡県大川市）の1つの大学、2つの専門学校を有しております。いずれも、西日本の医療福祉を支える専門職（コメディカル）を育成する養成校として、それぞれの学校の歴史と特性を生かしながらこれまで多数の人材を世に送り出し、地域の皆様からの信頼を頂いております。

福岡国際医療福祉大学は、平成31年4月に福岡市百道浜に専門学校の福岡国際医療福祉学院を継承し開学致しました。前身である福岡国際医療福祉学院では、西日本地区の医療を支える数多くのメディカルスタッフを育成してまいりました。今後は4年制大学として、更に質の高いメディカルスタッフを輩出してまいります。大学は博多湾を望むシーサイドももちに位置し、隣接して“福岡山王病院”や“総合ケアセンターももち”を併設しており、臨床現場と密接に連携した独自の教育環境を整えております。

専門学校柳川リハビリテーション学院は、リハビリテーション職の養成校として平成2年に福岡県内で初めて誕生し、開校よりこのたび30周年の節目を迎えました。私学の養成校として西日本のリハビリテーション医療をリードする優秀な人材を育成し続け、各方面より高い評価をいただいております。

また、大川看護福祉専門学校も、福岡県大川市の“高木病院”を臨地実習施設として、平成2年開校以来、地域医療の一翼を担う医療職を育成し30周年の節目を迎えるに至っております。ここでは、ボランティア活動や学園祭等を通して、学生と地域の皆様との交流も盛んに行われており、地域に根差した学校として親しまれております。これもひとえに行政、臨床実習施設の関係者の皆様、リハビリテーション、看護分野における諸先輩方等、多くの皆様方のご支援とご指導のおかげでございます。

このように、学校法人高木学園の3校は、優れた教員陣の指導のもと「チーム医療」に貢献し、これからの医療福祉を担う人材の育成に専心しております。

しかしながら、常に進歩し続ける先進医療を学生に教育するためには、より高度な学びの機会を（物心両面で）提供する必要があります。これは、私共コメディカル、看護養成校の大きな使命の一つであると考えておりますが、それには学びの場としての校舎や教育用医療機器の充実等、良好な教育環境の維持など多額の教育経費が伴ってまいります。

つきましては、当法人3校の使命をご理解いただき、3校の教育研究経費につきましてご寄付ご支援を賜りますよう、ここにお願い申し上げます。

今後とも当学園の学校運営にご理解いただき、格別のご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和 2年 4月
学校法人高木学園

理事長 高木 邦格